



## 串良運動公園

昔

昭和62年



今



平成17年に完成した串良ふれあいセンター。昭和62年当時は串良運動公園の駐車場とテニスコートとして利用されていました。写真左に見える運動場の小さな施設は、形を変えて今も同じ位置にあります。現在、串良ふれあいセンターは親子のふれあい広場やイベントの開催など、交流拠点として多くの人に利用されています。



毎年開催されるクロスカントリー大会は輝北の一大イベントとして定着しています

丘陵や草原など、自然の地形を生かしたコースでレースをするスポーツのクロスカントリー。本市では昭和63年にその第1回目として「88南日本クロスカントリー大会きほく高原」が輝北町の上場高原で開催されました。

南九州初となる本格的なクロスカントリー大会ということもあり、800人を超す選手が参加。また、たくさんのお客様や家族連れなどでにぎわいました。九州各県をはじめ、遠くは神奈川県から参加した選手たちは、360度眺

望できる雄大なパノラマの中、激しい高低差の山坂レースに挑戦し自慢の健脚を競いました。

会場では、当時世界の中距離トップランナーとして活躍しており、オリンピック出場経験のある輝北町出身の米重修一選手をゲストに迎えて、クロスカントリーの走り方講座を開催。その他、陸上自衛隊音楽隊による演奏や記念品の販売なども大会を盛り上げました。

今年で33回目を迎える同大会は、5月9日(日)に開催予定。美しい自然の中を駆け抜けるランナーの姿は今も昔も変わりません。今年も大パノラマで山坂を駆け抜けるランナーを応援しましょう。

今年で33回目を迎える同大会は、5月9日(日)に開催予定。美しい自然の中を駆け抜けるランナーの姿は今も昔も変わりません。今年も大パノラマで山坂を駆け抜けるランナーを応援しましょう。



走り方講座を行う米重修一選手

健脚を競うクロスカントリー

カノヤタイムトラベル

昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ!